

2023年度 決算報告

地球に提案だ。



挑戦の先に答えはある。

ZEON

2024年4月25日
日本ゼオン株式会社

P.2	総括とセグメントの概況
P.3	事業環境（為替・主原料推移）
P.5	業績サマリー（全体）
P.6	業績サマリー（セグメント別）
P.9	エラストマー素材 概況
P.10	エラストマー素材 P/L
P.11	エラストマー素材 営業利益差異
P.14	高機能材料 P/L
P.15	高機能材料 営業利益差異
P.17	高機能ケミカル事業：電池材料の状況
P.18	高機能樹脂事業：光学樹脂の状況
P.19	高機能樹脂事業：光学フィルムの状況
P.21	B/S概要
P.22	C/F概要
P.23	政策保有株式の状況
P.25	2024年度 事業環境
P.27	2024年度 業績予想
P.28	2024年度 配当金予想
P.29	自己株式取得および消却

【総括】

- ◆ Q4連結実績は対前年同期で増収増益、対前期で増収減益
- ◆ 年間連結実績は対前年同期で減収減益、対業績予想で増収増益
- ◆ 2024年度業績は対前年度で増収増益を予想

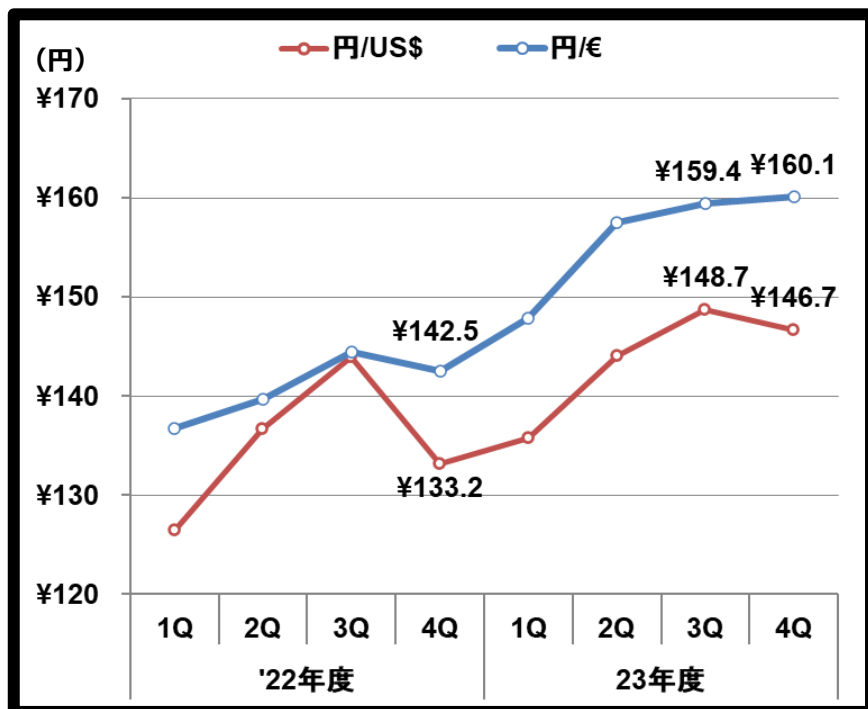
【エラストマー素材の概況】

- ◆ 合成ゴムの需要および出荷は総じて堅調に推移し、YoYは増収増益
- ◆ 出荷量増に伴いQoQは増収となるも、年度末の間接部門費用配賦増等により減益

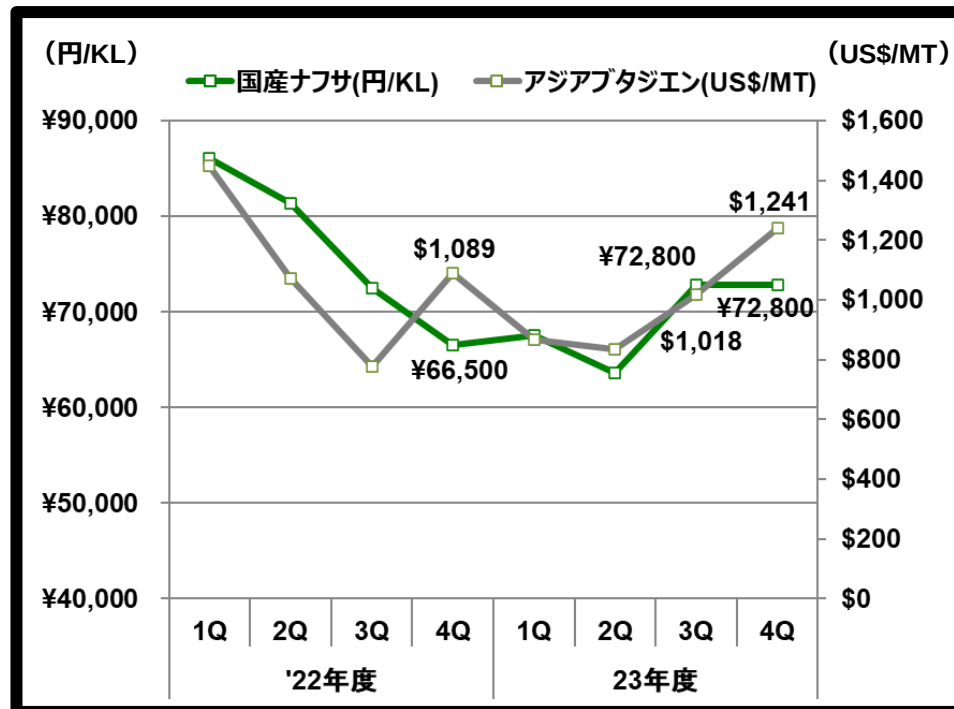
【高機能材料の概況】

- ◆ 高機能樹脂：能登半島地震影響でQoQは減収となるも、光学樹脂の出荷量増により増益、中小型フィルムの出荷量増も貢献しYoYは増収増益
- ◆ 高機能ケミカル：YoY、QoQともに電池材料は海外関連会社の期ズレ影響等で増収、出荷量減および販管費横ばいの影響で減益

【為替推移】



【主原料推移】



		2022年度 Q4	2023年度 Q3	2023年度 Q4	YoY 変化率	QoQ 変化率
為替	円/US\$	¥133.2	¥148.7	¥146.7	+10%	▲ 1%
	円/€	¥142.5	¥159.4	¥160.1	+12%	-
主原料	国産ナフサ/KL	¥66,500	¥72,800	¥72,800	+9%	-
	アジアブタジエン/MT	\$1,089	\$1,018	\$1,241	+14%	+22%

※国産ナフサ：2022年度Q4及び2023年度Q3は確報値、2023年度Q4は当社見込値

P.2	総括とセグメントの概況
P.3	事業環境（為替・主原料推移）
P.5	業績サマリー（全体）
P.6	業績サマリー（セグメント別）
P.9	エラストマー素材 概況
P.10	エラストマー素材 P/L
P.11	エラストマー素材 営業利益差異
P.14	高機能材料 P/L
P.15	高機能材料 営業利益差異
P.17	高機能ケミカル事業：電池材料の状況
P.18	高機能樹脂事業：光学樹脂の状況
P.19	高機能樹脂事業：光学フィルムの状況
P.21	B/S概要
P.22	C/F概要
P.23	政策保有株式の状況
P.25	2024年度 事業環境
P.27	2024年度 業績予想
P.28	2024年度 配当金予想
P.29	自己株式取得および消却

(単位：億円)	前年同期	前期	今期	対前年同期	対前期	2022年度	2023年度	対前年
	2022年度 Q4	2023年度 Q3	2023年度 Q4	YoY 増減	QoQ 増減	Q4累計	Q4累計	同期比
売上高	944	984	985	+41	+1	3,886	3,823	▲ 63
営業利益	▲ 7	65	45	+52	▲ 20	272	205	▲ 67
経常利益	3	69	70	+67	+1	314	269	▲ 45
当期純利益	▲ 77	105	102	+179	▲ 4	106	311	+205

- 前年同期比 : 売上高 +41億円、営業利益 +52億円
- 前期比 : 売上高 +1億円、営業利益 ▲20億円
- 通期対前年度比 : 売上高 ▲63億円、営業利益 ▲67億円

注記：海外関係会社の2023年10～12月実績がQ4連結決算に反映されています。

（単位：億円）

	前年同期	前期	今期	対前年同期	対前期
【売上高】	2022年度 Q4	2023年度 Q3	2023年度 Q4	YoY 増減	QoQ 増減
エラストマー素材	549	550	556	+7	+7
高機能材料	239	277	283	+44	+6
その他の事業、消去等	157	157	146	▲ 11	▲ 12
売上高合計	944	984	985	+41	+1

	前年同期	前期	今期	対前年同期	対前期
【営業利益】	2022年度 Q4	2023年度 Q3	2023年度 Q4	YoY 増減	QoQ 増減
エラストマー素材	▲ 20	25	5	+25	▲ 20
高機能材料	18	36	30	+13	▲ 6
その他の事業、消去等	▲ 4	4	10	+14	+6
営業利益合計	▲ 7	65	45	+52	▲ 20

2023年度 業績サマリー（セグメント別）

ZEON

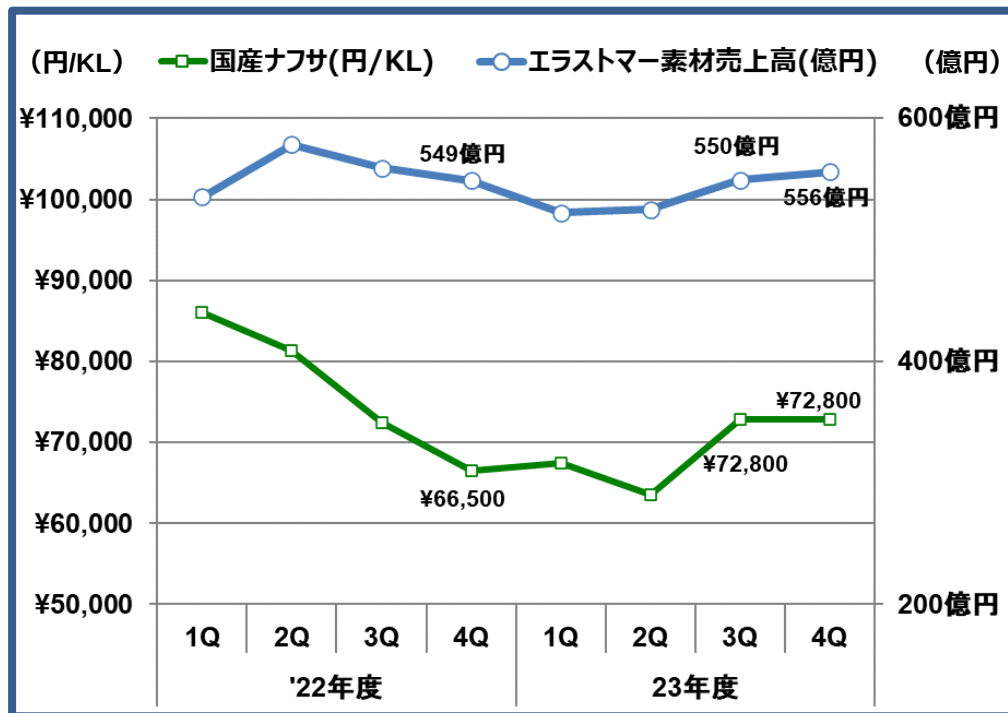
（単位：億円）

【売上高】	2022年度 通期	2023年度 業績予想 (1/31時点)	2023年度 通期	対前年 同期比	対業績 予想比	対業績 予想比率
エラストマー素材	2,222	2,120	2,153	▲ 69	+33	+2 %
高機能材料	1,054	1,030	1,074	+20	+44	+4 %
その他の事業、消去等	610	590	596	▲ 14	+6	+1 %
売上高合計	3,886	3,740	3,823	▲ 63	+83	+2 %

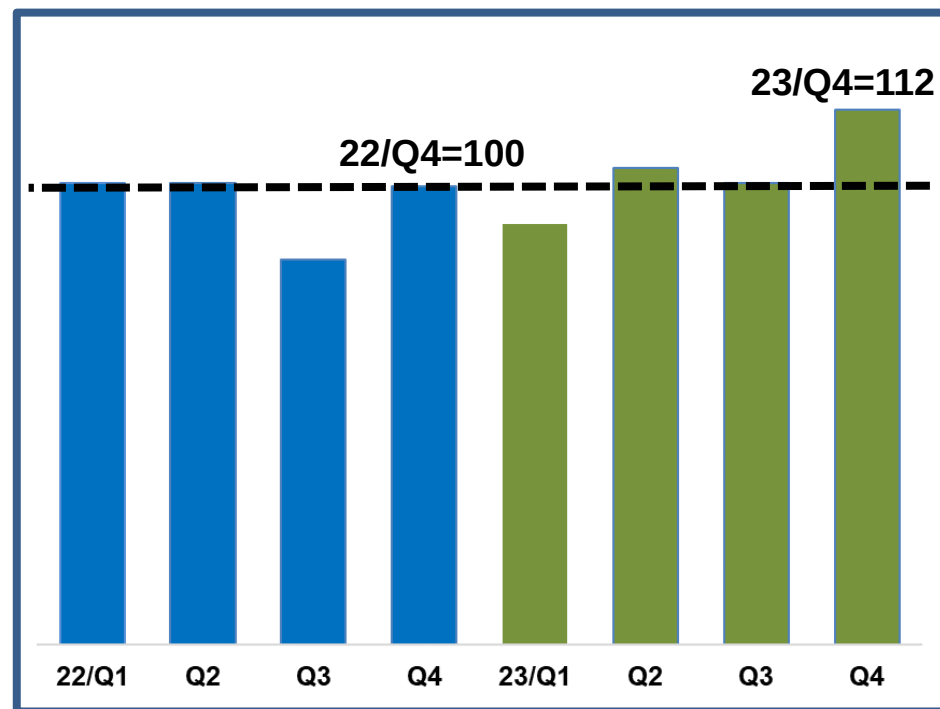
【営業利益】	2022年度 通期	2023年度 業績予想 (1/31時点)	2023年度 通期	対前年 同期比	対業績 予想比	対業績 予想比率
エラストマー素材	102	73	66	▲ 35	▲ 7	▲ 9 %
高機能材料	183	114	132	▲ 51	+18	+16 %
その他の事業、消去等	▲ 13	▲ 2	6	+19	+8	- %
営業利益合計	272	185	205	▲ 67	+20	+11 %

P.2	総括とセグメントの概況
P.3	事業環境（為替・主原料推移）
P.5	業績サマリー（全体）
P.6	業績サマリー（セグメント別）
P.9	エラストマー素材 概況
P.10	エラストマー素材 P/L
P.11	エラストマー素材 営業利益差異
P.14	高機能材料 P/L
P.15	高機能材料 営業利益差異
P.17	高機能ケミカル事業：電池材料の状況
P.18	高機能樹脂事業：光学樹脂の状況
P.19	高機能樹脂事業：光学フィルムの状況
P.21	B/S概要
P.22	C/F概要
P.23	政策保有株式の状況
P.25	2024年度 事業環境
P.27	2024年度 業績予想
P.28	2024年度 配当金予想
P.29	自己株式取得および消却

【国産ナフサ価格とエラストマー素材売上高推移】



【合成ゴム出荷量推移】



- エラストマー素材の売上高はYoY、QoQともに増加
- 合成ゴムは海外向けの出荷が回復、自動車用途を中心に出荷は堅調

(単位：億円)

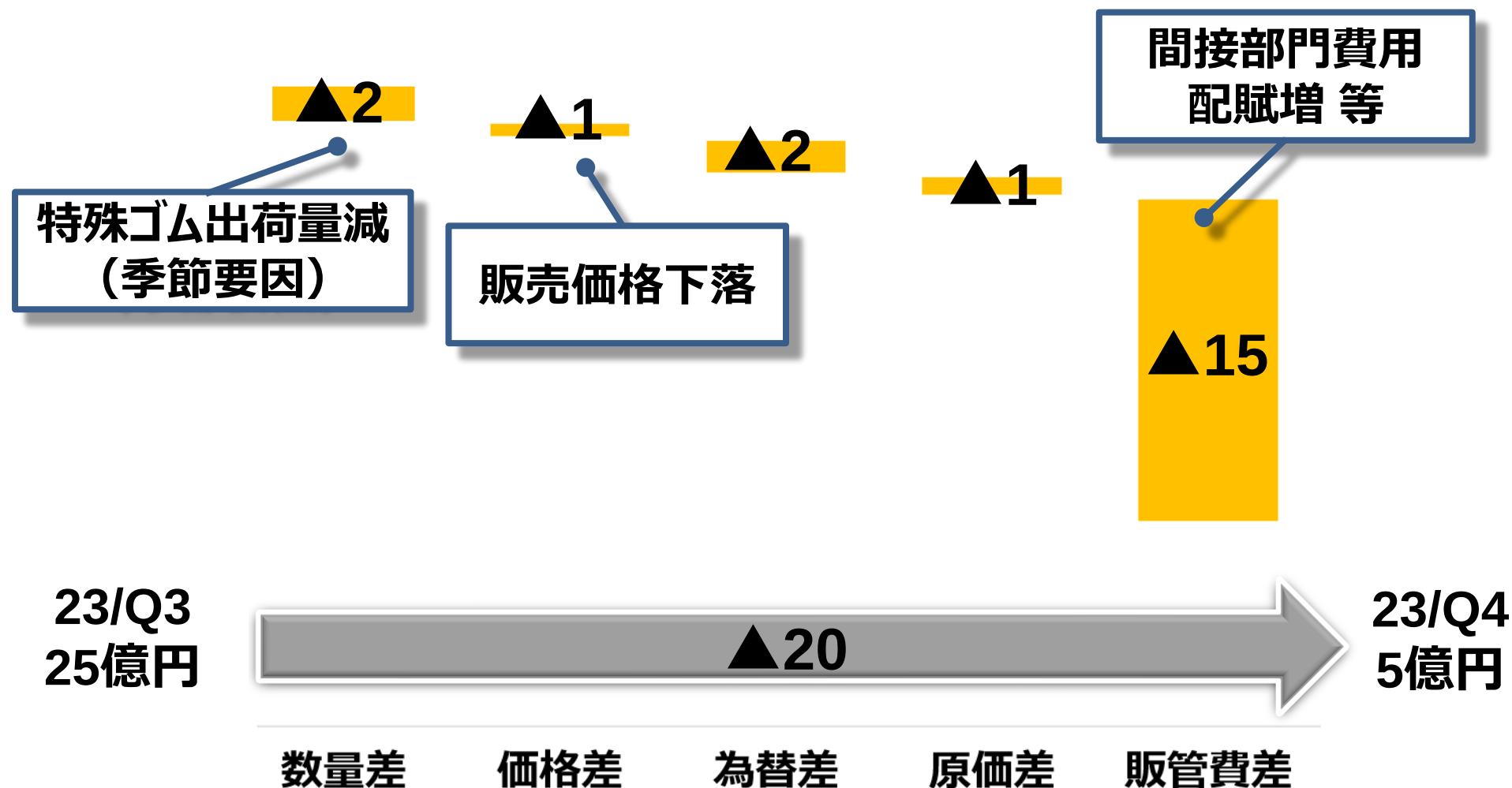
	2022年度 Q4	2023年度 Q3	2023年度 Q4	YoY 増減	YoY 増減率	QoQ 増減	QoQ 増減率
出荷量 (22/Q4=100)	100	101	111	11 pt	11 %	10 pt	10 %
合成ゴム	100	101	112	12 pt	12 %	11 pt	11 %
ラテックス	100	97	110	10 pt	10 %	13 pt	13 %
化成品	100	106	112	12 pt	12 %	6 pt	5 %
売上高	549	550	556	7	1 %	7	1 %
合成ゴム	400	420	412	13	3 %	▲ 7	▲ 2 %
ラテックス	29	27	30	1	3 %	3	13 %
化成品	107	90	99	▲ 8	▲ 8 %	8	9 %
その他・消去	13	13	15	2	16 %	2	16 %
営業利益	▲ 20	25	5	25	- %	▲ 20	▲ 81 %
営業利益率	▲ 4%	5%	1%				

■ 手袋向けラテックスおよび化成品は出荷回復傾向にあるものの、力強さを欠く

■ 営業利益は合成ゴム堅調によりYoYは増益、QoQは年度末の間接部門費用配賦増等により減益

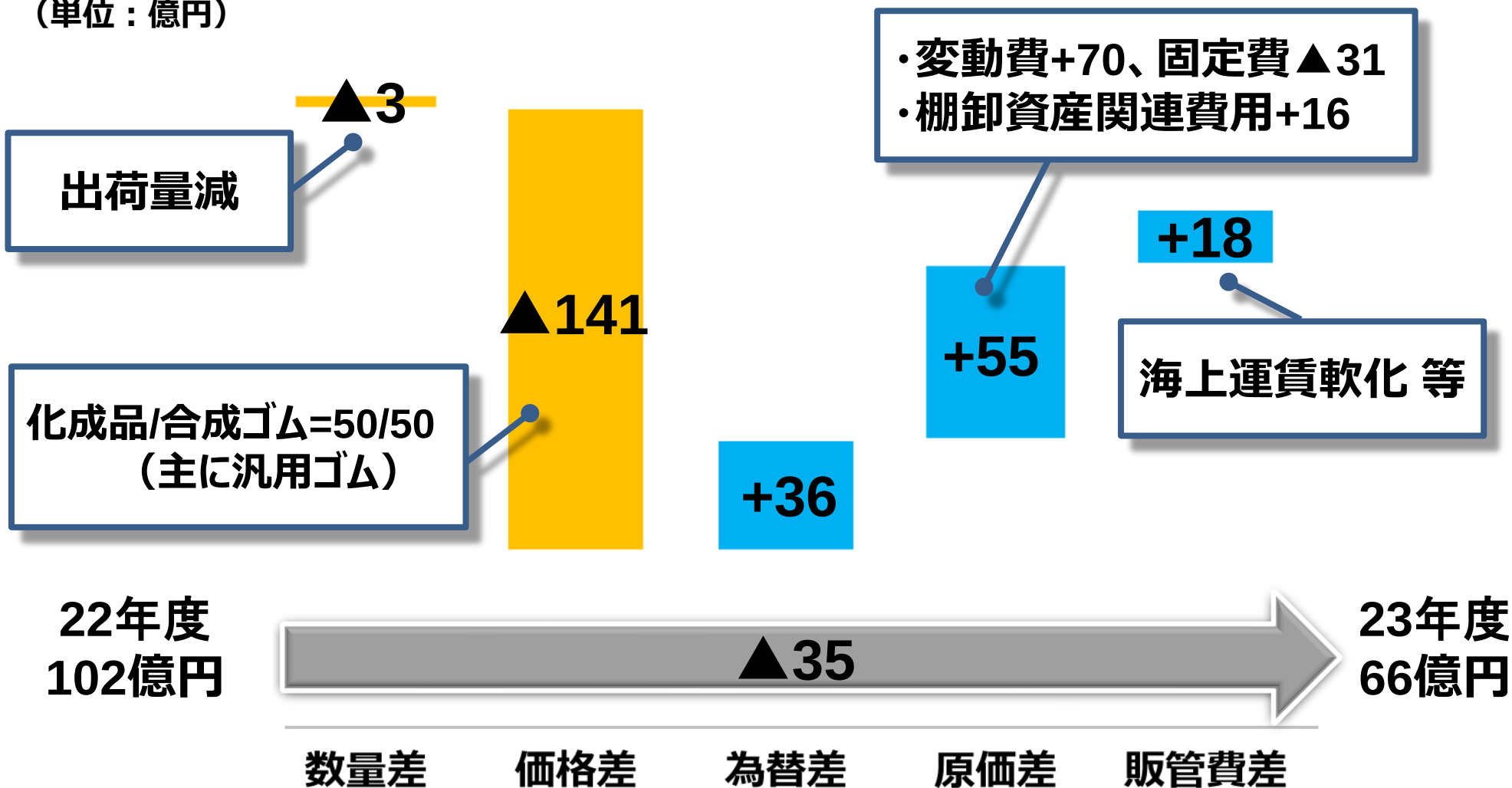
エラストマー素材事業：要因別 営業利益差異 (QoQ) ZEON

(単位：億円)



エラストマー素材事業：要因別 営業利益差異（年間YoY）ZEON

（単位：億円）



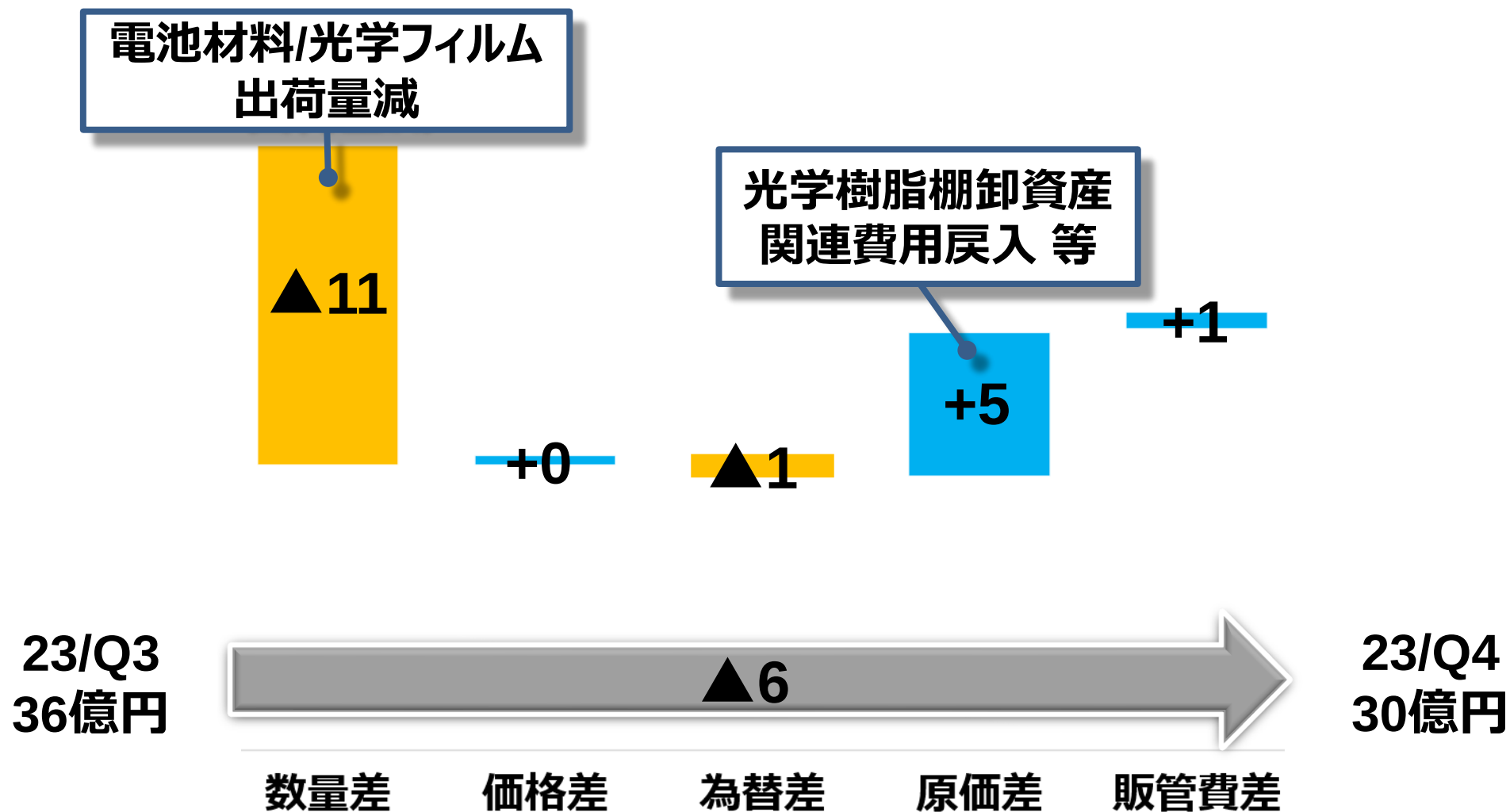
P.2	総括とセグメントの概況
P.3	事業環境（為替・主原料推移）
P.5	業績サマリー（全体）
P.6	業績サマリー（セグメント別）
P.9	エラストマー素材 概況
P.10	エラストマー素材 P/L
P.11	エラストマー素材 営業利益差異
P.14	高機能材料 P/L
P.15	高機能材料 営業利益差異
P.17	高機能ケミカル事業：電池材料の状況
P.18	高機能樹脂事業：光学樹脂の状況
P.19	高機能樹脂事業：光学フィルムの状況
P.21	B/S概要
P.22	C/F概要
P.23	政策保有株式の状況
P.25	2024年度 事業環境
P.27	2024年度 業績予想
P.28	2024年度 配当金予想
P.29	自己株式取得および消却

(単位：億円)	2022年度 Q4	2023年度 Q3	2023年度 Q4	YoY 増減	YoY 増減率	QoQ 増減	QoQ 増減率
売上高	239	277	283	44	19 %	6	2 %
※ 高機能樹脂	135	165	158	24	18 %	▲ 6	▲ 4 %
高機能ケミカル	95	102	114	19	20 %	13	12 %
メディカル他	9	10	10	1	16 %	▲ 0	▲ 2 %
営業利益	18	36	30	13	74 %	▲ 6	▲ 15 %
営業利益率	7%	13%	11%	※ 高機能樹脂 : 光学樹脂、光学フィルム 高機能ケミカル : 電池材料、化学品、電子材料、トナー			

■ 高機能樹脂：QoQは地震影響により減収となるも、光学樹脂の出荷量増により増益、YoYは中小型フィルムの出荷量増も貢献し増収増益

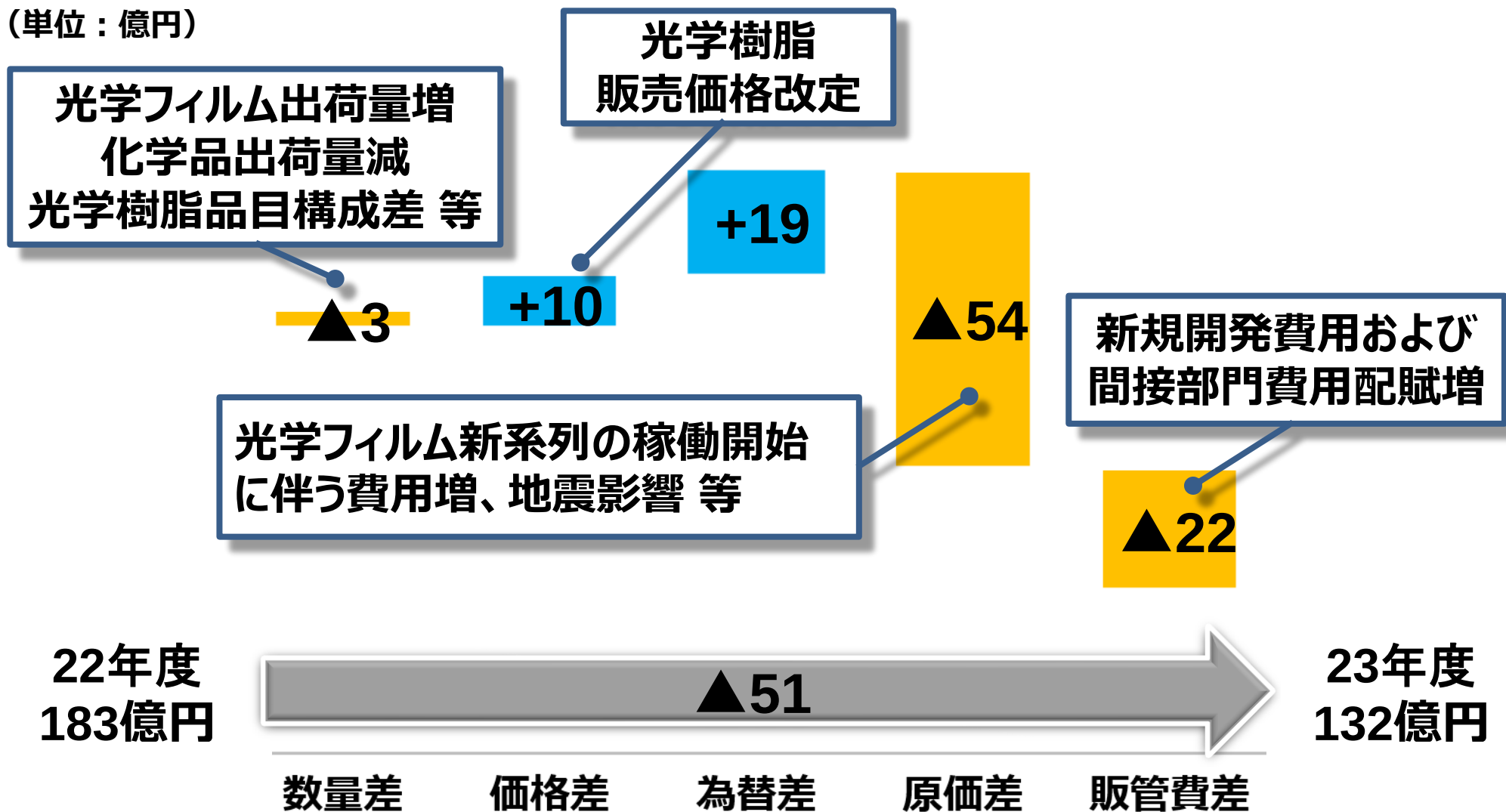
■ 高機能ケミカル：電池材料は海外関連会社の期ズレ影響等でYoY、QoQともに増収となるも、出荷量減および販管費横ばいの影響でQoQ、YoYともに減益

（単位：億円）



高機能材料事業：要因別 営業利益差異（年間YoY） ZEON

（単位：億円）



	YoY	QoQ	YoY累計
EV向け	106%	60%	104%
民生他向け	229%	133%	111%
全体	119%	68%	106%

■ EV向け

グローバルでのEV販売不振および中国春節に向けた出荷前倒し後の影響により、QoQは出荷量減

■ 民生他向け

モバイル端末向けは緩やかに回復、ESS用途向けの販売が伸び、YoY、QoQともに出荷量増

	YoY	QoQ	YoY累計
光学用途向け	118%	103%	97%
医療その他向け	110%	118%	106%
全体	112%	115%	104%

■ 光学用途向け

スマホ向け、プリンター向けともに復調傾向にあり、YoY、QoQともに出荷量増

■ 医療その他向け

顧客の需要増および半導体市場の回復が重なり、YoY・QoQともに出荷量増

	YoY	QoQ	YoY累計
中小型向け	134%	82%	91%
大型向け	85%	71%	135%
全体	92%	73%	124%

■ 中小型向け

スマホ向けおよびタブレット向け堅調によりYoYは出荷量増となるも、4Qはスマホ向け出荷端境期となりQoQは出荷量減

■ 大型向け

能登半島地震による操業一時停止の影響で、YoY、QoQともに出荷量減となるも、3/29に全面復旧完了

P.2	総括とセグメントの概況
P.3	事業環境（為替・主原料推移）
P.5	業績サマリー（全体）
P.6	業績サマリー（セグメント別）
P.9	エラストマー素材 概況
P.10	エラストマー素材 P/L
P.11	エラストマー素材 営業利益差異
P.14	高機能材料 P/L
P.15	高機能材料 営業利益差異
P.17	高機能ケミカル事業：電池材料の状況
P.18	高機能樹脂事業：光学樹脂の状況
P.19	高機能樹脂事業：光学フィルムの状況
P.21	B/S概要
P.22	C/F概要
P.23	政策保有株式の状況
P.25	2024年度 事業環境
P.27	2024年度 業績予想
P.28	2024年度 配当金予想
P.29	自己株式取得および消却

総資産5,323億円（+94）

【流動資産】 +44億円

- ◆現預金 +127億円
- ◆売掛債権 +39億円
- ◆未収入金 ▲41億円
- ◆棚卸資産 ▲41億円

流動資産
3,010
(+44)

固定資産
2,313
(+50)

【固定資産】 +50億円

- ◆有形固定資産 +167億円
- ◆投資有価証券 ▲148億円

流動負債
1,436
(▲170)

固定負債 250 (+20)

純資産
3,637
(+244)

【流動負債】 ▲170億円

- ◆コマーシャルペーパー ▲190億円
- ◆その他未払金・未払費用等 +20億円

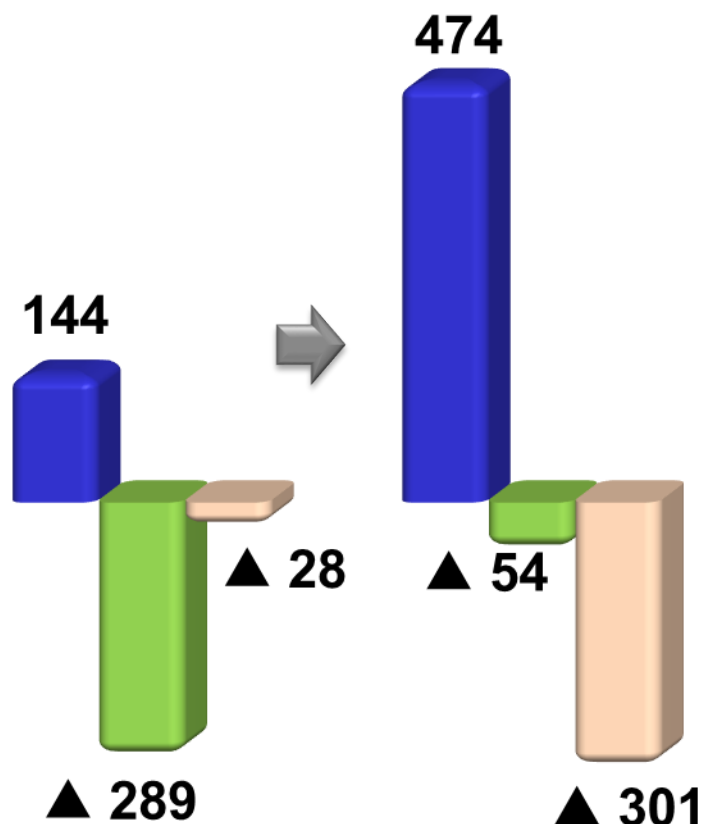
【純資産】 +244億円

- ◆自己資本比率 68.1% (+3.8)
- ◆D/Eレシオ 0.02 (▲0.06)

(単位：億円)

2022年度Q4

2023年度Q4



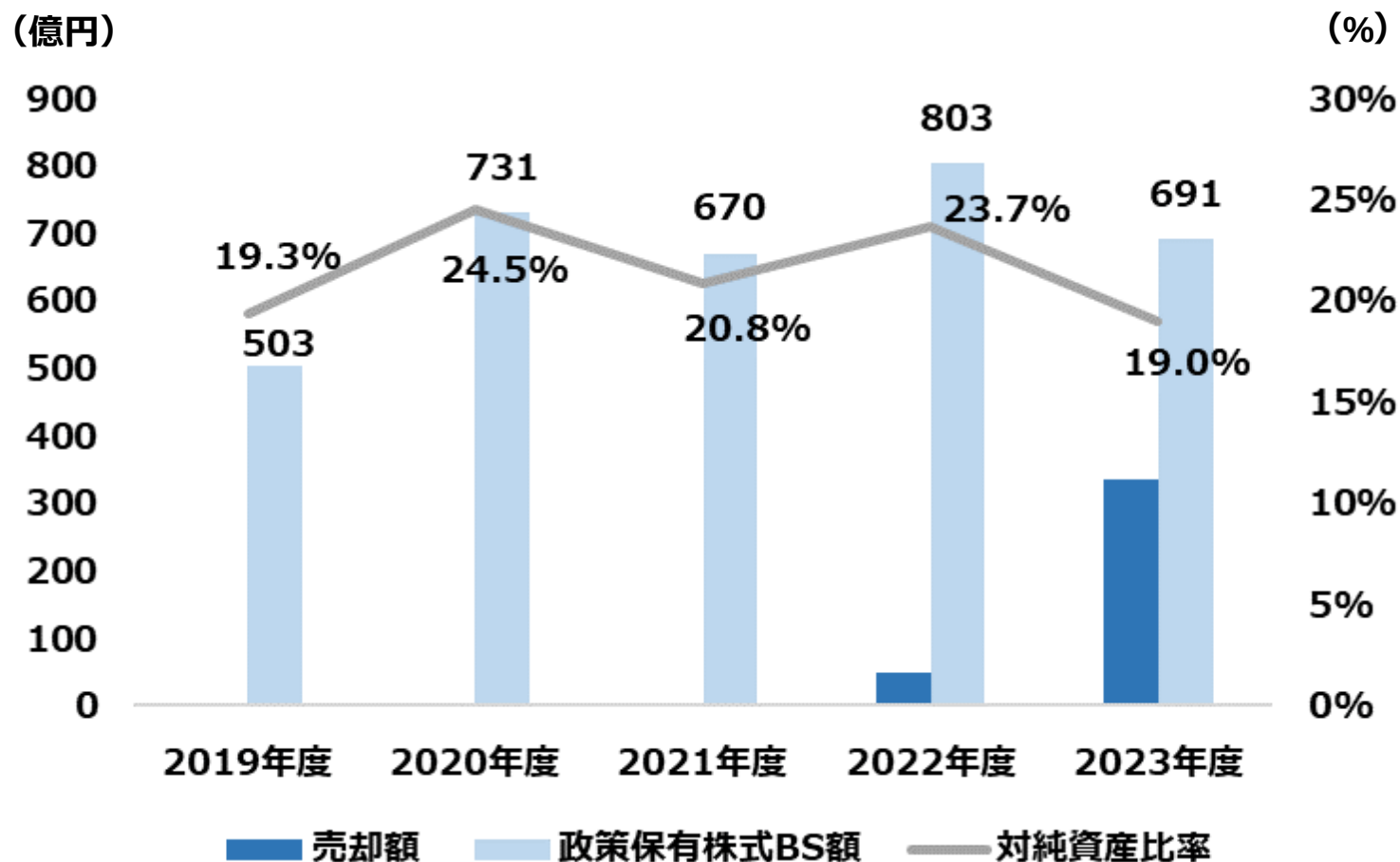
■ 営業CF ■ 投資CF ■ 財務CF

(単位：億円)

	2022年度Q4	2023年度Q4
営業CF	144	474
投資CF	▲ 289	▲ 54
フリーCF	▲ 145	420
財務CF	▲ 28	▲ 301
CF	▲ 174	119

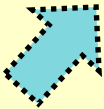
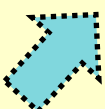
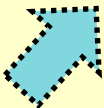
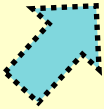
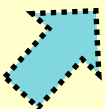
【営業CF】	+330億円
◆ 税前利益	+293億円
◆ 評価処分損	▲ 140億円
◆ 株式売却益	▲ 224億円
◆ 運転資金	+365億円
◆ 税金	+45億円
◆ その他	▲ 9億円

【財務CF】	▲ 273億円
◆ 資金調達	▲ 280億円
◆ 配当金	▲ 29億円
◆ 自己株式取得・消却	+40億円



- 2024年3月末の政策保有株式対純資産比率は19.0%
- 資本効率性向上に向け、今後も継続して縮減を進める

P.2	総括とセグメントの概況
P.3	事業環境（為替・主原料推移）
P.5	業績サマリー（全体）
P.6	業績サマリー（セグメント別）
P.9	エラストマー素材 概況
P.10	エラストマー素材 P/L
P.11	エラストマー素材 営業利益差異
P.14	高機能材料 P/L
P.15	高機能材料 営業利益差異
P.17	高機能ケミカル事業：電池材料の状況
P.18	高機能樹脂事業：光学樹脂の状況
P.19	高機能樹脂事業：光学フィルムの状況
P.21	B/S概要
P.22	C/F概要
P.23	政策保有株式の状況
P.25	2024年度 事業環境
P.27	2024年度 業績予想
P.28	2024年度 配当金予想
P.29	自己株式取得および消却

		2024年度		事業環境
エラストマー 素材 (億円)		売上 予想	営利 予想	
		2,215	100	2023年度に対し、売上高+62、営業利益+34
	合成ゴム			自動車市場は地域で差はあるものの需要は堅調 対23年度で増収増益の見込
	ラテックス			手袋向け市場は緩やかに回復
	化成品			粘着テープ市場は地域で差はあるも緩やかに回復

※2024年度の動向は2023年度比

		2024年度	
高機能材料 (億円)	売上 予想	営利 予想	事業環境
	1,155	155	2023年度に対し、売上高+81 営業利益+23
			光学/医療その他向けともに需要は堅調の見込
			大型向け生産ライン全面復旧により出荷回復の見込 タブレット/ノートPCは復調、スマホは低調の見込
			グローバルでのEV販売不振の影響

※2024年度の動向は2023年度比

(単位：億円)

【売上高】	2023年度 実績	2024年度 上期予想	2024年度 下期予想	2024年度 業績予想	業績予想 差異
エラストマー素材	2,153	1,115	1,100	2,215	+62
高機能材料	1,074	570	585	1,155	+81
その他の事業、消去等	596	295	305	600	+4
売上高合計	3,823	1,980	1,990	3,970	+147

【営業利益】	2023年度 実績	2024年度 上期予想	2024年度 下期予想	2024年度 業績予想	業績予想 差異
エラストマー素材	66	50	50	100	+34
高機能材料	132	55	100	155	+23
その他の事業、消去等	6	5	5	10	+4
営業利益合計	205	110	155	265	+60

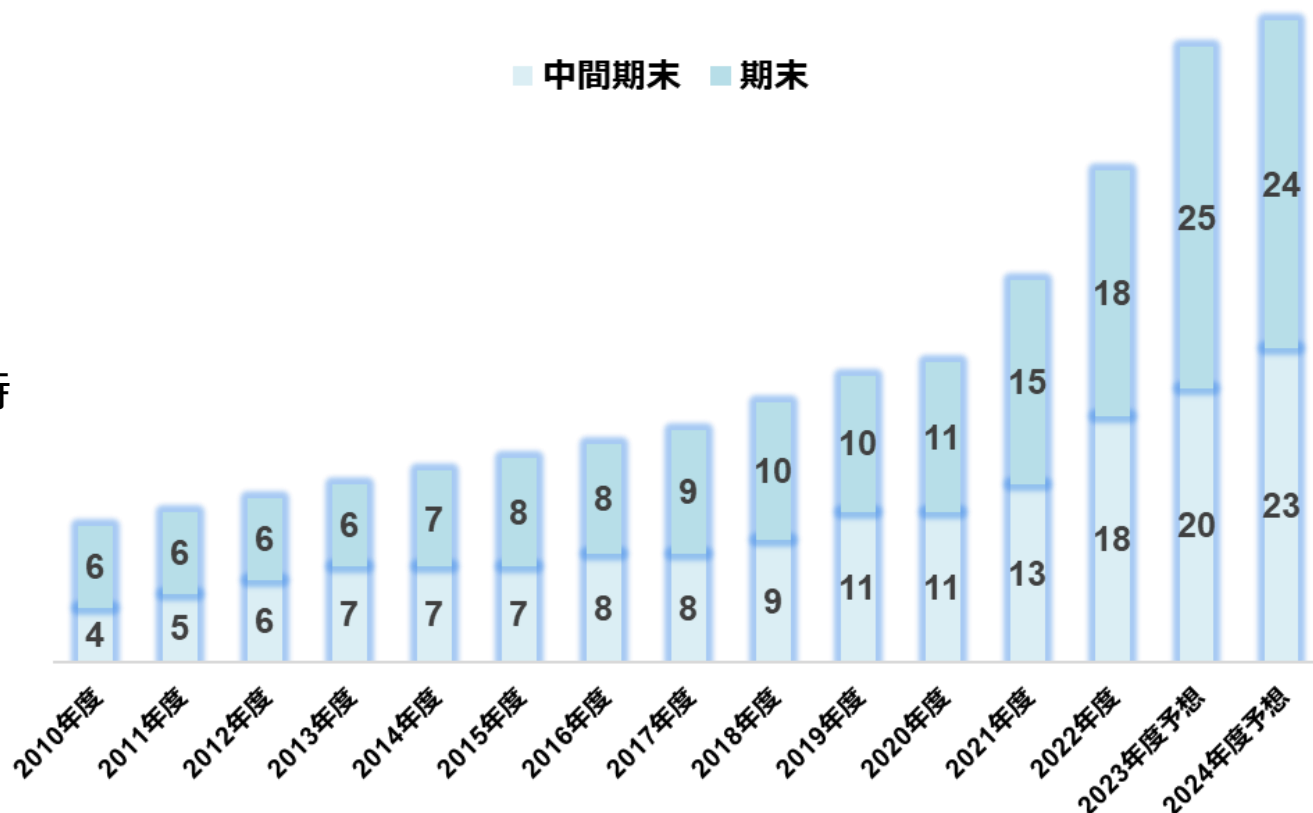
■ 年間業績予想は売上高3,970億円、営業利益265億円

予想前提：US\$=145円、€=155円、国産ナフサ=¥68,000、アジアブタジエン=US\$900

【配当金予想、単位：円】

株主還元方針

- ・ 安定的・継続的な配当を維持
- ・ 配当性向30%以上を維持
- ・ 自己株式の取得は
市況や資金需要等を勘案し
機動的に実施



- 期末配当金を前回予想20円から25円（+5円）に増配し、2023年度の年間配当金は45円を予想（配当性向30.6%、対前年度+9円）
- 2024年度の配当金は年間47円を予想（対前年度+2円）
年間配当額は2010年度から15期連続増配予想

1. 自己株式の取得および消却を行う理由

株主還元の充実及び資本効率の向上を図るため。

2. 取得に係る事項の内容

(1) 取得対象株式の種類	当社普通株式
(2) 取得し得る株式の総数	1,000万株（上限） （発行済株式総数（自己株式を除く）に対する割合 4.73%）
(3) 株式の取得価額の総額	100億円（上限）
(4) 取得期間	2024年5月7日～2025年3月21日
(5) 取得方法	信託方式を用いた市場買付

3. 消却に係る事項の内容

(1) 消却する株式の種類	当社普通株式
(2) 消却する株式の総数	上記2により取得した自己株式の全株式数
(3) 消却予定日	2025年4月4日

■ 1,000万株/100億円を上限に、自己株式の取得および取得した全株式の消却を決定

本資料に掲載されている当社の計画や見通しなどは、現在入手可能な情報に基づき算出したものであり、リスクや不確定な要因を含んでおります。実際の業績等は様々な要因により、大きく異なる結果になる場合があります。

中期経営計画 説明会	2024年6月11日を予定
2024年度 Q1決算発表	2024年7月29日を予定

※上記の予定は、都合により予告なく変更する場合がございます

ZEON
日本ゼオン株式会社

以 上

統合報告書
2023年度版は[こちら](#)

2023年度Q4 (2023年度Q3比)				
事業	出荷	売上	営業利益	QoQ差異説明
合成ゴム				・出荷量は海外汎用品を中心に増加 ・特殊品期末在庫調整（季節要因）等で減収 ・期末間接部門費用配賦増等により減益
ラテックス				・手袋向け出荷増 ・期末間接部門費用配賦増等により営利ステイ
化成品				・粘着剤市場が回復し、出荷量と売上は回復 ・期末間接部門費用配賦増等により減益

		2023年度Q4 (2023年度Q3比)				
事業	出荷	連結		単体 収益認識基準調整 なし		QoQ差異説明
		売上	営業利益	売上	営業利益	
光学樹脂						・出荷量増により増収増益
光学フィルム						・能登半島地震の影響で減収減益
電池材料						・出荷量減となるも、海外関連会社の期ズレ影響等により増収

アップサイド

エンドマーケット需要回復の早期化

為替の円安化

市況回復の早期化

円安ドル高

景気回復

円安ユーロ高

ダウンサイド

エンドマーケット需要低迷の長期化

為替の円高化

市況回復の長期化

円高ドル安

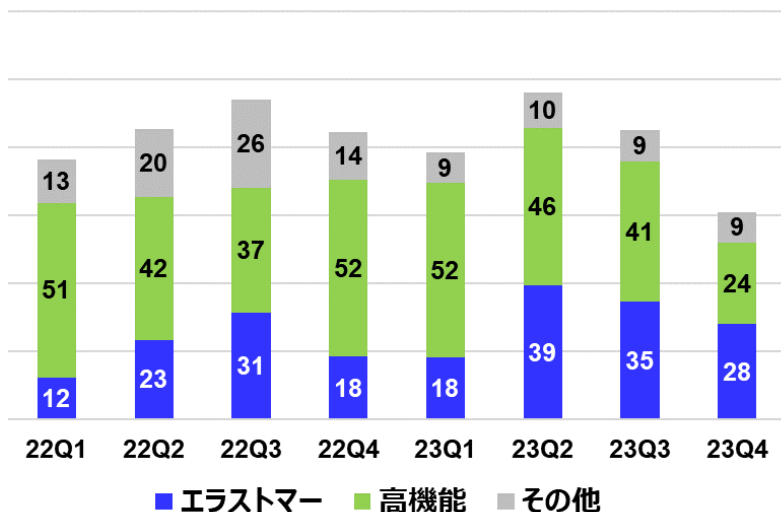
景気悪化

円高ユーロ安

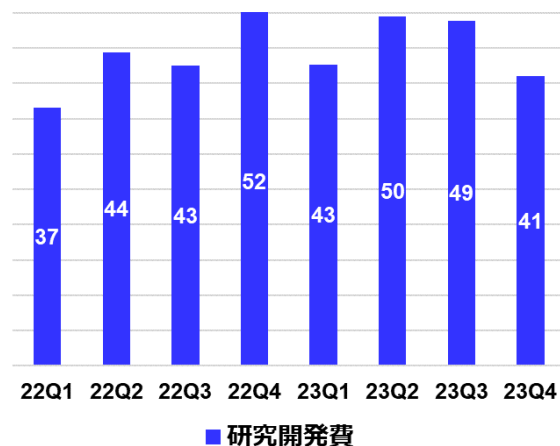
参考：資本的支出、減価償却費の推移

(単位：億円)

【資本的支出】



【研究開発費】

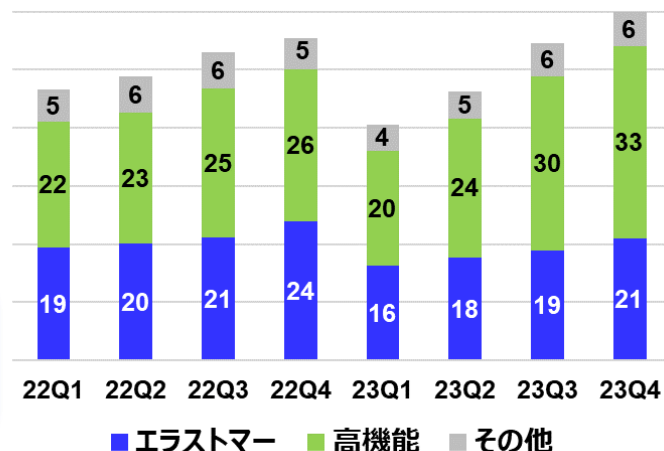


22年度実績
340億円

23年度実績
322億円

24年度予想
390億円

【減価償却費】



22年度実績
204億円

23年度実績
202億円

24年度予想
215億円

22年度実績
176億円

23年度実績
182億円

24年度予想
188億円